

2004  
四季のコンサートだより

2004年10月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 〒430-0904浜松市中沢町44-11

電話連絡 (053)473-3579(原)

<http://www6.plala.or.jp/hamatomo/>

親愛なる浜松の皆様へ

2004年6月14日

思い出の地である浜松で、再び皆様の前で演奏することができ、本当に嬉しく、心より感動しています。

今回は、すべてショパン、しかも練習曲全曲を含む大変意欲的なプログラムを組みました。練習曲といっても、これらの作品は難易度の高さはもちろんのこと、各曲ごとに色彩豊かなイマジネーションに満ちた芸術性溢れる曲集になっています。次のステップへの挑戦として、私はどうしても今このプログラムを演奏しなくてはならないと思ったのです。皆様の心温まる大きな拍手と笑顔は、弾き終わった私への最大のご褒美でした。本当にありがとうございました。

演奏会を終えた今、私は自動車の中でこれを書いています。これから浜松近郊の古い寺や史跡を訪問し、伝統ある日本文化に触れたいと思っています。

浜松は私にとって特別な意味を持つ大切な街です。この地を訪れるたびに、いつも言いようのない親近感を覚えます。また必ず皆様の前で演奏する日が来ることを心から望んでいます。

皆様に愛を込めて

アレクサンダー・ガブリリェク



## 浜松音楽友の会スタッフ 山中眞沙子

アレクサンダー・ガブリリェクには三年前、浜松ピアノコンクールで優勝した次の年に初めて逢いました。その頃と比べ、今回の彼の成長した姿にわが子のような嬉しさを覚えました。

生死を分かつような事故そして手術から回復した後、こわごわとピアノの前に座り、好きな曲を弾いてみて、以前と変わりなく弾けて嬉しかった事、自分がその後音楽の面でも、人間的にも成長したと自覚した事、13歳で親と別れ、先生とピアノの生徒仲間5人とオーストラリアに移り住んで淋しいけれど色々頑張ってきた事などを話してくれました。

音楽は自分にとって薬だとも言っていました。浜松の演奏会でも初めの曲を弾き出した時はすごく頭痛がして、間違えたりもしたけれど、二曲目になった頃にはもうすっかり治り、自信たっぷりに弾け、すごく満足のいった演奏が出来たそうです。以前にも、ある演奏会の前に39度の熱があったけれど、演奏している間にどんどんよくなり、終わった頃にはすっかり治ってしまっていた事もあったとか

で、音楽は素晴らしいと話していました。

しばらく親に電話をしていなかったそうで、やっと電話が通じてお父さんと話ができたと話してきた時

は、まだ本当に子供のような上気した幸せそうな顔をして家族の様子を話してくれました。早くお父さん達をオーストラリアに呼び寄せられるようになるといいですね。妹さんもピアニストでコンクールにも優勝しているくらい優秀だそうで、自分と同じように成功して欲しいと、妹思いのお兄さんでした。

日本には何回も来ているのに日本をぜんぜん知らないと言うので、演奏会の次の日、大好きな浜松の近郊を観光しました。ロシアの文学や歴史の本をよく読む彼は、日本に来る飛行機の中で「ラスト・サムライ」の映画を見て、日本の歴史や文化にも興味を持ったそうです。若者らしく気質の闊所では槍を持たせてもらって大張り切り。元気よく山を登り、奥山方広寺では展示してある刀を持たせてもらえるだろうかとたずねたり、龍潭寺では正座をしてお抹茶をおいしいおいしいと飲んでいました。お寺では気持ちが大変落ち着いて大きなエネルギーをもらい、精神的なものが降り注いでくるのを感じるとしきりに言っていました。やはり彼は感性が鋭い偉大な芸術家なのでしょう。

楽屋裏で彼を舞台に送り出した時、一步舞台に踏み出したとたんにその立ち居振る舞いからして一人の立派なピアニストになっていました。そう伝えたら、「僕はプロだから」という返事が返ってきました。きっと人間的にも素晴らしい世界的なピアニストに成長する事と信じています。「その時は浜松音楽友の会の事を忘れないでね」と言ったら、「浜松の事は絶対に忘れない」と素敵な笑顔で答えてくれました。



## 日本の「四季」

今年の四月に「四季のコンサート」でヴィヴァルディの「四季」全曲を演奏させていただいたのは大変光栄なことでした。日本では「四季」はバロック音楽の代表的な名曲として知られ、来日する外国の弦楽合奏団は必ずといって良いほど全国各地で「四季」を演奏します。しかし、本場である筈のヨーロッパでは（イタリアでさえも）「四季」が全曲演奏されることは希で、たまに、「春」だけとか、「夏」だけとか1曲をプログラムに入れることがある位です。30年ほど前、ヴィヴァルディ合奏団のヨーロッパ公演で、イタリアのシエナで演奏した時のことですが、メンバーの一人が急病になり、プログラムの後半に予定していたバルトークの「弦楽のための嬉遊曲」が演奏出来なくなってしまいました。そこで、急速、プログラムを変更して、日本ではよく演奏しているので慣れている「四季」全曲を演奏したのですが、「減りに聞けない全曲が聞けた」と大層喜ばれました。ヨー



ロッパでは、聞いたことのない曲がプログラムに入っていないと切符の売れ行きが悪いそうで、知っている曲ばかりでは音楽会に行く気がしないけれど、知らない曲が多ければ「どんな曲だろう。聞いてみよう。」ということになり、人が多く集まるので、よく知られている「四季」を全曲プログラムに入れることはそう多くないのです。

日本では逆で、曲目に知らない曲があると、「難しそうだ」と敬遠されてしまうことが多いようです。しかも日本人は題名の付いている曲が好きなので、演奏会の曲目がいつも同じものに偏りやすいのでしょうか。企画する人が苦心するところですよ。

指揮者 早川正昭



「四季」は作曲された当時から非常に人気の有った曲ですが、その上に日本人の季節感にぴったりで、共感を呼びやすいのだと思います。日本ほど季節のそれぞれが美しくバランスの良い国は他にはないのです。「四季のコンサート」という素敵な企画が、これからも末永く続きますように祈っております。

## 右脳は音楽によって甦る

浜松早期痴呆研究所所長・楽友会オーケストラ浜松会長 金子満雄

生演奏の現場で名曲を聴いて感動することは、その人の右脳の感性の領域を活性化してくれ、その瞬間、その人を思いやりのある、協調性のある気分に変えてくれます。音楽はマジックです。その繰り返しにより、その人は同時に名画にも美しい花にも感受性を示すようになり、また、スポーツにもゲーム、詩歌にも関心の目を向けるようになるでしょう。そんな人が社会に一人また一人と増えることによって、その社会のムードを少しずつ和やかな暖かみのあるものにしてくれるでしょう。

私はこの20年、「高齢者の痴呆の早期診断と治療」に全力投球をしてきて、今、どうやら確実な成果を上げられるようになりました。ご存じの通り、ボケやすい人は学歴や社会的地位はあっても、若い頃から仕事一辺倒で、右脳の感性の乏しい生活をしてきているものです。彼等は何かの楽器を合奏したことはありませんし、コー

ラスにも音楽会にも無関心な人達だったのです。そんな人は決まって自己中心的で、周囲の人や家族に対しても思いやりや気配りがなく、彼等自身、疎まれています。

私自身も音楽を楽しめる人たちと一緒に生きることが最高の好運だと思っています。私の妻がこの20年間、「四季のコンサート」のお世話をする側にいさせてもらったことから、時々、暇をみては一緒にコンサートを聴かせて貰ってきました。

先だっつての新ヴィヴァルディ合奏団の演奏は楽しかったですね。指揮の早川先生は私達、脳外科オーケストラ（全国規模）の常任指揮者でもあるのです。今回は特に嬉しいことが起こりましたね。あの演奏会のアンコールで、早川先生ご自身の編曲になる「日本の四季」がヴィヴァルディの四季より、皆さんに大いに受けたのです。あの時には自分のことのように嬉しかったですね。

音楽を愛する小児科医 辻 徹

私は1年半前に浜松に転居して来ました。それまでは義務の為、音楽とは無縁の生活をしておりました。転居後は時間的余裕も出来、アマチュアの演奏会などに子供達を連れて家族で聴きに行くようになりました。子供達はピアノを習っていましたし、音楽が子供の情操教育にも良く、学力向上を促すとの研究発表もありましたので、暇を見ては出かけておりました。音楽との出会いを機に私も何かと思い、フルートを習い始めました。そんな折、家族楽しく、低価格で聴きに行ける演奏会がないものかと探していて、インターネット上でこの会を知りました。次回の演奏会は習い始めたフルートで、しかも、かの有名な工藤ヒゲノリさん（長男が命名）ではないですか。会に連絡を取りましたが満席でした。ホームページに、券を譲ってくださいと書き込みしても、何も連絡なく諦めておりました。しかし、当日、スタッフの方からお電話を頂き、「席に少し余裕があるからどうぞ」と

言われ、子供を連れてすぐ聴きに参りました。このような立派なコンサートに小さな子供を2人連れて行ったのは初めてで、途中でぐずり始めたらと不安でしたが、最後まで、素晴らしい音楽を楽しく聴く事ができました。それを機に入会し、私と家内は仕事と育児で疲れた心と体を癒し、翌日からの活力としています。子供達にも情操教育と思い聴いて欲しいのですが、腕白盛りの長男は、「また、コンサート？託児で良い。」と言って、親の思い通りにはならず困っています。「あきなり君（幼稚園年長）、託児ばかりでなく、たまには一緒に聴こうね！」

素晴らしい演奏家達のコンサートを、低価格で年齢制限をすることなく、託児施設まで設けて聴く事ができる事には、スタッフの皆様の努力だと思い感謝しております。本当に大変な事だと思いますが、会員の心の癒し、子供達の情操教育のため、これからも頑張ってください。

これからのコンサート予定

**秋** 佐藤美枝子 ソプラノリサイタル

10月14日(木) 6:45 PM

ピアノ：村上尊志

待ちに待った佐藤美枝子の登場です。1998年チャイコフスキー国際コンクール声楽部門第1位という栄冠が示すように、日本が世界に誇るコロラトゥーラソプラノです。お得意の曲が並ぶ今回のプログラムは、きっと彼女の魅力を存分に堪能できる事でしょう。



プログラム

- 1部：山田耕筰／ペチカ・薔薇の花に心を込めて・野ばら・からたちの花  
ドナウディ／おお、私のよき人よ  
ベッティネッリ／生きている口づけ  
フランケッティ／五月に  
ブロッホ／主題と変奏曲 op.164 「おお！恋人よ帰れ」

- 2部：ヴェルディ／「シチリア島の夕べの祈り」より  
友よありがとう  
ジョルダノ／「王様」より ある晴れた朝に  
ヴェルディ／「椿姫」より ああ、そはかの人が

**冬** トウキョウ・ウインズ (木管五重奏)

12月18日(土) 6:45 PM

赤坂達三(Cl)、岩佐和弘(Fl)、和久井仁(Ob)、藤田旬(Fg)、小川正毅(Hr)の5人の名手による木管アンサンブルです。フランス音楽を中心に好評を博していますが、今回は、友の会の為のクリスマス特集です。その魅力的で鮮やかな演奏をご期待ください！



プログラム

- 1部：イベル／三つの小品  
ドビュッシー／「子供の領分」より ゴリウオーグのケーキウォーク  
ガーシュイン／「ボーギーとベス」よりメドレー
- 2部：ヘンデル／「水上の音楽」より  
クリスマス・オン・ザ・モール  
クリスマス・ジャズ組曲  
ロジャース／「サウンド・オブ・ミュージック」よりメドレー

(曲目変更あり)

2005年 四季のコンサート 予定

**春** 二期会マイスターズジグナー 歌の花束 4月15日(金)

演奏と教育の両面で世界でも類を見ない声楽家団体である「二期会」、そのピックアップメンバーにより結成されたグループが「二期会マイスターズジグナー」です。その名の意味する「名歌手」を裏付ける8人の実力派ソリストによる、美しいボーカルアンサンブルをお楽しみください。

**夏** 小菅 優 ピアノリサイタル 6月15日(水)

1983年東京生まれ。9歳よりヨーロッパに住み（現在オーストリア在住）、研鑽を積みながら演奏活動を重ね、その足跡はヨーロッパはもとより、日本、米国などに及び、年に40ヶ所以上でコンサートを行なっています。高度なテクニックと豊かな表現力、美しい音色で最も注目を集めている俊英ピアニスト。2002年に新日鐵音楽賞受賞。TBS「情熱大陸」でも取り上げられた、小菅優の若い感性をご堪能ください。

**秋** 川島成道 ヴァイオリンリサイタル 10月29日(土)

8歳の時の視力喪失を乗り越えて、精力的に演奏活動が続いている新進気鋭のヴァイオリニスト、川島成道の登場です。18歳で日本音楽コンクール第3位を受賞し、桐朋学園大学を経て、英国王立音楽院に留学、首席で卒業。日本フィルとの共演によるデビュー後、英国を拠点として、国内外で注目を集めています。神聖さを湛えた、情緒溢れる美しい調べに、きっと皆様の心が癒されることでしょう。ロンドン在住。

**冬** クラシック・バスカーズ 12月予定 12月11日(日)

クラシック音楽は楽しい！ 面白い！ イギリスからやってきた、笛（リコーダー・フルート・オカリナ等）とアコーディオンの二人だけのオーケストラ。楽しいおしゃべり、たくさんのおかしな楽器（?）、そして愉快的演出とともに、ウィットとユーモアでいっぱいのステージを繰り広げます。どうぞご期待ください。

浜松出身の演奏家シリーズ

宮本いずみ ピアノリサイタル 9月16日(金)

西遠女子学園、桐朋女子高音楽科、桐朋学園大学を卒業、同大学研究科在学中にドイツ ハノーヴァー国立音楽大学に留学、ソリストコースを今秋卒業予定。ネクレベルク教授に師事。スペイン、イタリアの国際ピアノコンクールに参加し、第1位及び最優秀ロシア作品賞、特別賞を受賞。スペイン、イランなど各国でのコンサートでも絶賛を博した実力派ピアニストです。

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員だより 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で、テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所・氏名・電話・会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417までお申込みください。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。